company newsletter

VOL 114

ダン吉＆べっこときどき新聞

2025.4.1　**長距離鐵道の旅　松陰先生を尋ねて萩へ**　　発行元　小久保運送（有）/ かたづけダンべぇ **0270-32-1542**

10年ぶりに山口県の萩市を訪ねました。たまたま福岡に所要があり、その帰りに立ち寄ったのです。ちなみに博多までは新幹線。同行した乗り鉄からの推奨もあり、往復鉄道の旅になりました。帰りの便で博多から新山口まで行き、そこからはバスで１時間少々。目的地萩に到着したのはお昼前でした。

萩市内は観光タクシーを手配しておいたので、あちこちと、ドライバーさんの案内で効率的に観光できました。なんせ帰りの新幹線のことも考えると、滞在時間は３時間程度。その中で観光してお昼も食べて帰るわけですから忙しい。実は10年前に来た際大河ドラマ「花燃ゆ」が放映中。主人公の吉田松陰の妹 文（ふみ）は、群馬県初代知事「楫取素彦」の妻。そんなことに興味も抱き、初の来萩となったのでしたが、バス等を利用して回ったため、時間が押して、萩の見どころが見られませんでした。そのため今回は、メンバー５人ということもあり、奮発して観光タクシーを手配した次第です。

おかげで松下村塾から始まり、松陰神社、伊藤博文や高杉晋作、桂小五郎等のゆかりのある場所を多数、しかも説明付きで案内してもらい、お昼はおすすめの海の幸が美味しい、リーズナブルなお店で食べることができました。また、萩城や江戸時代の街並みが当時のまま残っている城下町等も見学、散策等することができたのでした。

萩の見どころを堪能し、帰りのバスに乗り、新山口に戻ったのが16時前。予定の帰りの新幹線に乗って、無事東京経由で本庄早稲田まで夜、戻ってまいりました。往復新幹線、途中バス、そしてタクシーと公共交通機関をフル活用し、１泊２日で観光アリの出張旅行となりました。意外に長距離新幹線の旅も楽しい。乗り鉄以外にもお薦めします(笑)

かたづけダンべぇから いろいろお知らせ

まだ3月中旬ですが、暖かい日も多くなってまいりました。過ごしやすく、我々にとっても作業のしやすい季節になってはきたのですが、、、思いやられるのはこれから来る暑さ。弊社では暑さ対策を今からやっていこうと、準備しています。

その一つといて、ポータブル電源を購入しました。これで屋外でも電気が利用できて、様々な暑さ対策に役立つと思っています。

グルメ情報「カフェ アンデシーズ」さんのご紹介

伊勢崎市上諏訪町にオープンした『Cafe indecis』さん。小さなカフェながら、クオリティが高いお店。女性店主さんが、これまで人気カフェで磨いた技術やセンスを生かして作るメニューは、丁寧な仕事が伝わってきます。フォトジェニックな可愛い見た目もファンが多い理由。

FOODS(一例)

◆トマトミートボールバインミー 580円

◆今日のスパイスカレー750円

・ドリンクは、全30種類以上。エスプレッソ追加・バニラアイスストッピング…等、カスタマイズ。ホットのラテメニューはラテアートで提供されます（※一部メニューは除く）

・手作りのデザートは、定番から人気の期間限定デザートまで。

オリジナルの**「バニラアイスサンドくん」**は、なんともユーモラスで可愛いお店の人気者です。店内は、ペンダントライトの柔らかな灯りと、ナチュラルな木の質感が優しいオシャレな空間。さりげなく飾られた本やドライフラワーも素敵です。それでいて、ほっこりとした居心地の良さもあって癒されます。カウンター席、テーブル席、奥にはソファ席があって、一人でふらりと立ち寄っても、お友達と一緒でもゆっくりと寛げると思います。

店内には、一枚板と樹脂を組み合わせて作る**レジンテーブル**という個性的な家具が使われています。色とりどりのドライフラワーが閉じ込められたテーブルは可憐で目をうばわれます。こちらは、販売も受け付けているそう。興味のある方はお気軽にお声がけください。

行きつけにしたくなる魅力的な癒しのカフェ。是非足を運んでみてください。

「カフェ　アンデシーズ」
住所：伊勢崎市上諏訪町1234-6
営業時間 11:00～19:00
定休日：木（インスタで確認下さい）

出典「アイマップ」www.imap.ne.jp

ひとこと

最近「なぜヒトだけが老いるのか」という本を読みました。実は野生動物には一部の種以外は「老後」というものは存在しないそうです。何故ならば、老いる＝動けない＝死だからとのこと。（人に飼われた犬猫は老後はあるようです。）

ではなぜ人には老後があるのか？それはその方が、人の繁栄にとって都合が良いからだそう。人の赤ちゃんを育てるのは手がかかります。だけど一族に面倒を見てくれるお年寄りがいると、助かります（おばあちゃん説）。ちなみにチーターの赤ちゃんの生存率は5%とのこと。これでは種は繁栄しないです。さもありなんという感じです。

それを読み、会社組織においても、しかも少子高齢化社会が進展する今ならなおのこと、高齢者が活躍できる場があることは、大事なことだと思う様になりました。

そんなわけで弊社には65才以上で、活躍されている方が複数人います。各自健康に物凄く気を使い、日々努力しています。そのことは弊社にとって今後益々重要になると思うのです。若けりゃいいってもんじゃないですよね。